

# ひでお行動

VOL.4

<http://www.hideo-y.org/#top>  
吉泉秀男の毎日の動きがわかります。  
ホームページをご覧ください。

## 2月21日

9時半、鶴岡で田川建設労働組合定期大会に出席、各支部、分会定期大会を踏まえての大会であり、他の組合は本部大会を終え本部方針を各支部に提起する組合が多いのに、それぞれ地域での総括を踏まえて大会に臨む建労方式は毎年参加させて頂いているが、学ぶことが多い。

「月に8日しか働けない。生活できない」「仕事がなく夜間警備でアルバイトしている。大事な道具が寂れてしまう」「建設国保掛け金払えず組織を脱会する仲間が出ている。」など全建総連本部書記次長から建設不況を受け苦しむ全国の現状、それでも労務単価引き上げや公契約に向けて頑張っている状況が報告され、国、各自治体問わず景気、雇用対策が遅れている現状を突きつけられた。大会には加藤代議士も出席し挨拶した後退席、私は来賓挨拶ご休憩時間があり、その時間で各支部長やお世話になっている人達に挨拶してから帰る。山形に向かう。今日我が家は、妻が後援会の人たちとバスで向かい、晃は運転し私と山形、家族そろって同じ集会に参加するのは久しぶりである。会場に着くと既に



山内徳信議員

尊敬する「山内参議員」が到着していた。熱血先生である。先生は昨日青森で講演し今日山形に来て講演、多忙な日程である。講演内容は高校教師時、教え子から「読谷村を民主化して欲しい」と願われ、断ると「私たちに先生は何を教えたのか」と問い返され、村長に転出それから政治の道へまっしぐら、講演1時間はあっという間の時間であった。先生から

は「米が美味しい、水がうまい」と誉められる。総理が言う「命を守る。地球の命を守りたい。」と、まさに沖縄は基地移設と同時に「辺野古の海を守る。海から多くの恵みを頂いて育ててきた沖縄県人。だからこそ、基地はいらない、この海を命がけで守る」と、自然豊かな大地から多くの恵みを頂いている私達、しかし、山は荒れ、田んぼ、畑は荒れ、日を追うごとに疲弊してくる農山村。山内先生は言う。「自分の生まれ育った地を守り発展させたいと、その為命をはって闘う」と沖縄の闘いは山形、自分自身の闘いであると教えられる。講演会の前段に私の国会報告、約200人参加して頂いた。心からお礼申し上げる。講演会終了後、社民党旗開き、吉村県知事、近藤民主党県連会長、連合、平和センター祝辞後、懇親会、お世話になりながら久しぶりの仲間と懇談に夢中になり池田会長はじめ20人バスで来た地元後援会の皆様にお礼述べた時間を失礼してしまい、まずい対応したことを反省する。一緒にバスで帰ればよかったが明日の国会の対応で上京しなければならず、また、社民党幹事長達と今後の対応について打ち合わせもあり大変失礼したことをお詫びする。最終新幹線で上京、新幹線「岸参議員」も同乗していた。参議院選挙、自民党公認争い、32歳の公募相手との争い、岸先生も必死の闘いであると察せられる。



## 2月20日

朝6時40分で仙台から秋田へ向かう、9時20分着、タクシー運転手から秋田市内、三越デパート3月閉店、イトーヨーカ堂撤退表明など益々寂れてくると話される。大会は総選挙立候補した山本代表が交代し新体制で参議院選挙はじめ地域、生活再建勝ち取る方針を確立する。大会には佐竹県知事も出席し祝辞を述べる。総選挙で連合を介した民主党との選挙協力が崩れ

社民党の主体性をどう築いていくのか活発な議論がなされたと思うが、大会途中で退席、「いなほ」で地元へ。池田会長ほか事務所にて明日の社民党県連合学集会、旗開きの参加者状況、国会状況など突き合わせをし、25日26日後援会国会見学 40人バスでくる細かな日程打合せする。池田会長には何から何までやって頂き頭が下がる。街宣行動から晃が戻ってくる。「政策レポート NO3」晃から印刷製本やってもらう。私は、明日3区の代表者が集まるので、この間確認してきた黨員拡大、新報拡大そして後援会世話人のリストなど資料作り。

## 2月19日



8時45分から農林水産理事会、9時から農林水産常任委員会、昨日の今日であるから自民党欠席かと思ったら委員会に出席、やはり酪畜の補償価格決める審議会に意見を反映させる委員会であり欠席できないと判断したものと1人で勝手に思った。委員会始まったら話題の石川議員出てきて席は私の隣であった。審議内容が酪農、畜産関係であり石川議員の選挙区が北海道なので話を私のほうからかけた。当然、話題は続かなかった。12時半で委員会終わる、東京で今日と明日にかけて中学校同級会である。昼から同級生14人国会に来る。国会議事堂食堂で昼食、面談室で懇談後国会議事堂を案内する。議事堂内や国会議事堂をバックに記念撮影、同級生は赤絨毯踏む事ができたとはしゃぎである。何歳なっても同級生はいいものだ。同級生は地元の他に愛知県、山梨県からも参加して頂き心から、感謝、感謝 夜は新宿で酒を酌みあい懇談



会、しかし、私は残念であったが、明日社民党秋田県連合大会のため10時20分新幹線で仙台へ向かう。(同級生は泊まりで明日東京見学) 仙台に24時着く。ホテルへ。

## 2月18日

朝、天候は小雪、自宅に電話すると庄内は晴れていると言う。午前の予算委員会とりやめになった為、定例社民党常任委員会に出席する。毎週木曜日定例になっており、意思疎通を図っている。地元はどうだろうか。月1回開催するにして年12回しかない参議院、統一地方選、私の本番選挙と日を追うごとに近くなってくる。会社でも何の組織でも場当たりの会合で意思疎通を図っている組織はすべて潰れている。私はこの事を肝に銘じているのだが・・・12時45分から代議士会、13時から本会議、山形1区選出鹿野代議士、予算委員長であるが昨日の公聴会日程を強行採決したと言う理由で解任決議出され、本会議で議案として提案され賛否を問う本会議である。予算委員会での社民党の貴重な1議席を阿部委員の代理として私が昨日の予算委員会に出席し公聴会日程提案に賛成したのである。強行採決の場合はテレビでは知っていたが、はじめての経験である。委員長席に野党になった自民党の委員が鹿野委員長席を取り囲み採決させない行動をとった場面を目の前にした。本会議は当然決議案は否決された。本会議が終了し予算委員会開催され終了し理事会が再開された。(私が出席) 自民党筆頭理事は町村派会長町村代議士であり、もう1名は加藤紘一代議士である。自民党の言い分は「政治とカネ問題であり昨年12月から参考人招致を求めている。しかし、民主党は応じない、辞職勧告にしても本会議に上げない。数の力で押し通そうとしている。ましてや石川議員は国会にでて。少なくとも予算委員会の場に出て石川議員本人の口から真相を述べるべきである。もう山場でありここにきて民主党は応じず日程だけ先行し協議するならば応じられない。」と・・・延々と理事会やり取りされるが自民

党理事、町村、加藤両委員部屋を出てボイコット、野党の公明、共産は残るが、委員会は休憩、与党理事会開催し自民党に出席求めるが返事なしで自民党抜きに委員会を開催し月曜費の予算委員会質疑日程だけ決める。しかし思う。確かに「政治とカネ」は究明しなければならないが、国会対策委員会、与野党幹事長会議もある。ここは当面する景気の回復や課題に向けた予算を審議方法を決める場理事会である。与党の質疑時間を少なくし本会議はじめ、すべての委員会で野党に3分の2以上自民党には半分を与えられているながら、これからの大事な予算審議を応じないとは。それを自民党を代表する町村、加藤の2人が協議中に気持ちが切れてボイコットするとは・・・今日は遅くなり1人で夕食をとるのイヤなので、途中の酒店で仕入れして宿舎に帰る。質問出番延期、各委員会に出席続きドドット疲れで休む。

## 2月17日

新議員会館建設も順調に進み7月ごろには転居できるようである。駅から議員会館まで100メートル、その間、



警察、工事管理者、守衛官が道路わきに立ち、その脇を多くの議員、秘書、職員が急ぎ足で会館に向かう。「おはようございます。」守衛官が皆に声をかける。しかし、下を向いて返事しないで通り過ぎる。「君たちは何様だ。」と思う守衛官がいると思う。常に私は「おはようございます。ご苦労様です。」と応える。敬礼され気持ちが良い。公設秘書2人にもこの事を言うと返事をしていると言う。さすが他の秘書とは違う良い秘書である。議員バッチ、公設秘書の通行証のことも私は言う。議員でもバッチ忘れてつけていなければ、議員会館や国会には入れない。「バッチは議員の物ではなく私に社民党に投票

してくれた30万人以上の人達意思表示バッチであり、その人達の代表としてバッチつけているんだ。」と。「公設秘書の通行証も議員バッチと同じであり、秘書はサラリーマンではない、勘違いするな。首にかけている通行証の重みを受け止めてくれ」と。私設秘書とは違い公設秘書にとっては厳しい言葉である。しかし、嬉しい。国会も審議の山場を迎え与野党ガチンコ状態、今日の予算委員会で公聴会日程を強行採決した為に明日以降の審議見通しが見えない。気になりながらも、夜、全農林3役と大幅に減額された農村整備関連予算について打合わせがあり、会場の虎ノ門に向かう。途中会場の仲居さんから私に電話かかっていると。上着を脱いでいたので携帯電話通じなかった。宇都秘書から「自民党が予算委員長解任決議提出され議員運営委員会と予算理事会で協議しているが、明日午前中私の予算委員会質問は午後からになるようである。」と、わざわざ会場の電話を探し連絡してくれるとは、私が帰っても執務室に待機して理事会の動きをつかみ連絡してくれるとは、携帯電話履歴を見ると19時40分から20時34分まで携帯に電話していたのである。2人の秘書に心から感謝する。ありがとう。今日は党首討論など、いっぱい書くことがあるが長くなるので終わる。

## 2月16日

バンクーバー初のメダル獲得、それも我が山形県出身の加藤条治選手である。加藤選手おめでとう。期待されながらメダルを取れなかったトリノ5輪、この悔しさに負けず4年間頑張った結果だと思う。「初志貫徹」「成せばなる」である。本当におめでとうございます。9時10分から両院議員総会、与野党合意せず議長職権で今日の本会議を開くことになった



経過を服部議運から報告あり、辞職勧告をめぐり自民党強固な構え、年度内予算成立を図るためには、衆議院2月末で通過させ参議院に送らなければならない。17日の党首討論は与野党合意しているが、他は未定、18日の予算委員会で質問予定しているが、いつになっても良いように準備しなければならない。11時半農林水産理事会開催。しかし、自民党、公明党の理事出てこない。本会議終了後再開確認し休憩。12時45分代議士会13時本会議、民主党小林議員選挙資金の北海道教組関わりについて自民党は3大疑惑と攻めてくるが、質問材料不足は歪めない。本会議終了後農林水産理事会、しかし野党出席せず。23日政府は2010年度畜産、酪農政策価格決定する審議会が決まっている。ここに意見反映するにはどうしても委員会を開かなければならない。筆頭理事同士の協議で18日「理事会」19日「農林水産常任委員会」開催でまとまる。質問時間は3時間与党1時間野党2時間である。所信表明に質問することにし、今回はパスすることに決める。最上町長が穴あきダム建設でわざわざ日程をあわせて来てくれたのに本会議で会えず、電話で連絡し謝る。庄内の受精士協会代表が来館し本会議傍聴、事前に連絡あったので、テキパキと上野秘書おもてなし、協会から感謝される。6時から社民党政策審議会、農林水産政策会議と日程はあるがそれぞれ秘書対応。終了後一般質問打ち合わせをし、明日各省庁に通告し事前打ち合わせすることを宇都秘書と確認する。受精士協会と懇談約束していた時間過ぎたが会場に向かう。厳しい畜産、酪農状況であるが経営安定対策、個別所



経過を服部議運から報告あり、辞職勧告をめぐり自民党強固な構え、年度内予算成立を図るため

得保障制度など意見交換。しかし畜産、酪農農家の高齢化が進み「期待がもてる畜産を描けないと後継者はいないし、山形県、庄内から畜産、酪農は消えるし自分たちの受精士としての技術も活かさない。」と抱える課題は深刻である。店が閉店するまで飲食。充実した時間であった。企画してくれた地元の受精士佐藤清喜氏に感謝

## 2月15日



5時半にデニーズに向かい朝食をとる。今日の深夜にも来て、最近顔を見ると黙っていても席に案内してくれる。「企業・団体献金禁止」を経

済同友会が発表した。歓迎すべきである。国会は石川議員の「辞職勧告決議」を巡って与野党合意ならず。社民党は今国会で企業、団体献金廃止を盛り込んだ政治資金改正法を各党に呼び掛けている。経済同友会の意見書が改正に向けて弾みがつくよう力を入れる。重野幹事長と、私鉄総連、全造船、全建総連、政労連に労働担当常幹新任挨拶訪問。昨日地元建労三川支部大会に出席していたために支部から本部に連絡入り歓迎された。連絡網の徹底、すごい組織である。感心する。政労連では雇用対策についてレクチャーを受ける。経済が回復傾向にあるが、依然として雇用情勢は厳しい。緊急雇用対策で基金を活用して教育訓練を実施しているが、10万人に対し78000人の実績である。これは教育訓練場所が少ない原因もあるが、受け入れられる企業が、制度について知られていない事が原因にもなっている。国会運営が順調に進めば18日予算委員会のバッターでありこの件も入れて質問に立つ予定。国会は明日の本会議開催で与野党合意せず、7時半まで待機、議長職権で開催すると連絡入る。遅くなったので2人の秘書と夕食。